



## 対応のポイント

- 携帯電話利用の実態を把握しましょう。
- 携帯電話が子どもに及ぼす影響について考えましょう。
- 保護者・学校・地域で協力して、子どもたちに情報モラルを指導しましょう。

## みんなで考えましょう

### — お子さんにとって携帯電話は本当に必要ですか？ —

多くの子どもたちの携帯電話は、有害サイトにいつでもつながり、使い放題の環境になっています。

携帯電話の所持率が高まり、使用時間も増えています。その結果、携帯電話にかかわるトラブルも年々増加しています。

### — その携帯電話の使わせ方で大丈夫ですか？ —

パケット定額制の環境では、子どもたちが危険に遭遇する可能性が高まります。また、家庭での学習時間や睡眠時間の減少、ネット依存症等の問題も起きています。

多くの子どもたちは、家庭内ルールがないまま自由に携帯電話を使っています。中には、メールのやりとりに戸惑いを感じている子どもや、使い過ぎを自覚しながらも携帯電話の使用をやめられない子どももいます。

当センターでは、平成20年7月に、県内の児童生徒・保護者を対象として、インターネットや携帯電話の使用に関するアンケート調査を行いました。その結果をもとに、児童生徒が情報社会の中でインターネットや携帯電話を、安全に、安心して活用できるようにしていくための対応について提案します。

# お子さんにとって 携帯電話は本当に必要ですか？

## 増え続ける携帯電話所持率

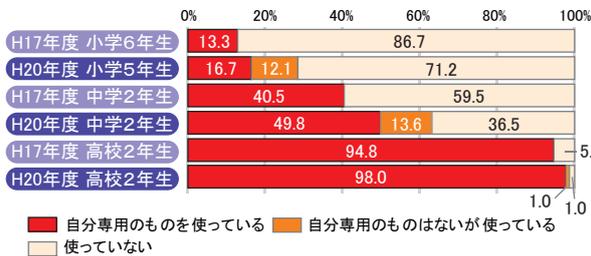


図1 H17年度 自分専用の携帯電話を持っていますか。  
(小学6年生n=626 中学2年生n=484 高校2年生n=555)  
H20年度 あなたは携帯電話を使っていますか。  
(小学5年生n=521 中学2年生n=301 高校2年生n=396)

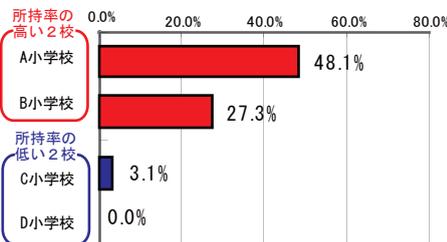


図2-1 自分専用の携帯電話を持っている児童の割合の学校間の差(小学校)  
(小学5年生n=521)



図2-2 自分専用の携帯電話を持っている生徒の割合の学校間の差(中学校)  
(中学2年生n=301)

子どもたちの携帯電話所持率は年々増加しています。

**コメント**  
中学2年生の所持率が増えています。所持率の高い学校では約8割の生徒が携帯電話を持っています。一方で、保護者と学校の連携した取り組みにより所持率が0%の小中学校があることも分かりました。

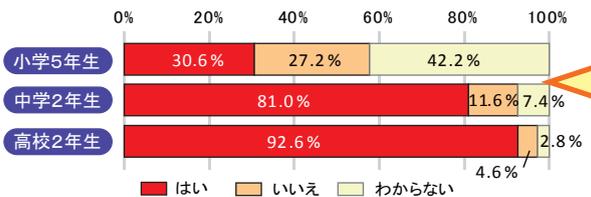


図3 あなたの使う携帯電話は、インターネットにつながりますか。  
(小学5年生n=147 中学2年生n=189 高校2年生n=390)

インターネットに  
接続可能

**コメント**  
携帯電話所持者のうち、小学5年生の約3割、中学2年生の約8割、高校2年生の約9割が、インターネットに接続できる携帯電話を使用しています。

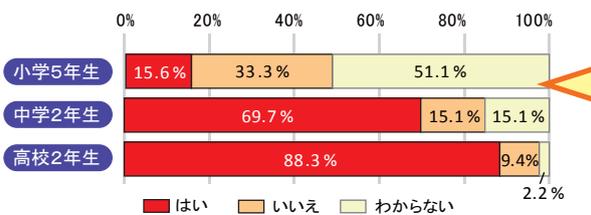


図4 インターネットやメールが定額で、使い放題のサービスを利用していますか。  
(小学5年生n=45 中学2年生n=152 高校2年生n=360)

インターネット  
使い放題

**コメント**  
インターネット利用者のうち、小学5年生の2割弱、中学2年生の約7割、高校2年生の約9割がパケット定額制を利用し、インターネット使い放題の環境で携帯電話を使用しています。

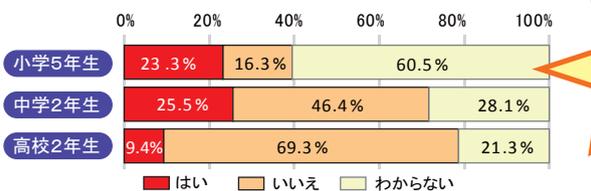


図5 あなたの携帯電話には、フィルタリングがかけられていますか。  
(小学5年生n=43 中学2年生n=153 高校2年生n=361)

フィルタリング  
なし

**コメント**  
インターネット使用者の多くがフィルタリングを利用しておらず、いつでも有害サイトにつながる環境になっています。

「パケット定額制」とは、

※ 携帯電話でWebサイトやメール、情報サービスなどを利用した時の料金を、送受信データ量に関わらず一定とする料金制度です。

悪口・誹謗中傷サイト

出会い系サイト

アダルトサイト

犯罪・自殺サイト

薬物・麻薬サイト

暴力・残虐サイト

多くの子どもたちの携帯電話は、有害サイトにいつでもつながり、使い放題の環境になっています。

保護者と学校の連携により、携帯電話を持たせない指導をしている学校もあります。お子さんに携帯電話を持たせる前に、携帯電話が本当に必要なかどうか、もう一度考えさせましょう。

# 増え続ける中高生の携帯電話使用時間

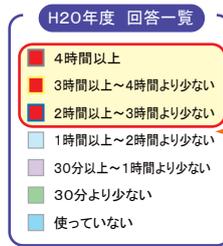
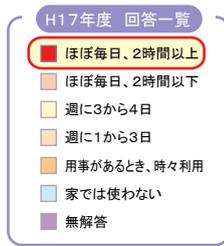
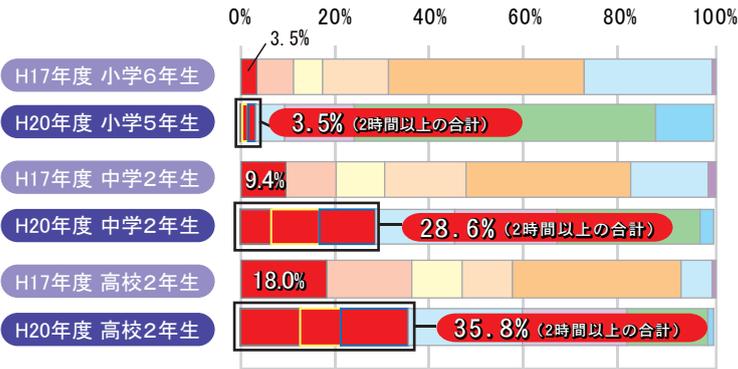


図6 H17年度 家でインターネット(携帯電話を含む)はどの程度使っていますか。  
(小学6年生n=564 中学2年生n=457 高校2年生n=555)

H20年度 携帯電話を使っている時間は、平均すると一日のうちどれくらいですか。  
(小学5年生n=147 中学2年生n=189 高校2年生n=391)

**コメント**

中高生の使用時間が増えています。2時間以上使用している生徒は **中学2年生で約3倍、高校2年生で約2倍** に増えています。また、中には4時間以上使っている生徒もいます。

## 携帯電話に潜む危険性

**携帯電話を持つことにより、いたずらをされる危険性が増えています。**

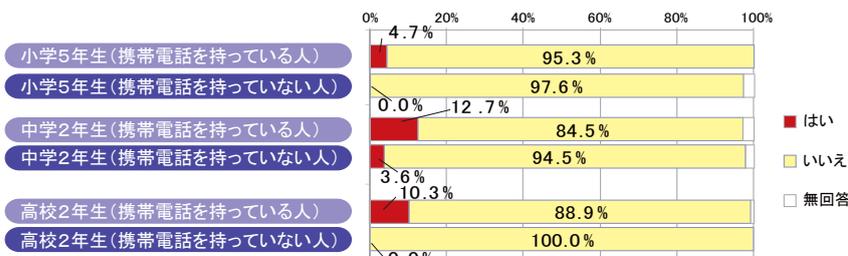


図7 携帯電話やインターネット上で、いたずらをされたことがありますか。

～自分専用の携帯電話を持っている人対象～ (小学5年生n=86 中学2年生n=142 高校2年生n=397)  
～自分専用の携帯電話を持っていない人対象～ (小学5年生n=371 中学2年生n=110 高校2年生n=4)

**コメント**

携帯電話やインターネット上でいたずらをされた割合は、携帯電話を持っていない児童生徒に比べて持っている児童生徒の方が、高くなっています。いたずらされたと回答した児童生徒のうち、**約9割が自分の携帯電話**を持っていた。

**保護者の知らないところで、子どもたちは交遊を広げています。**

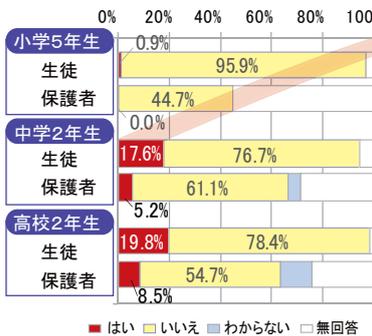


図8 インターネットで知り合って、何度かやりとりをしている人がいますか。(いると思いますか。)

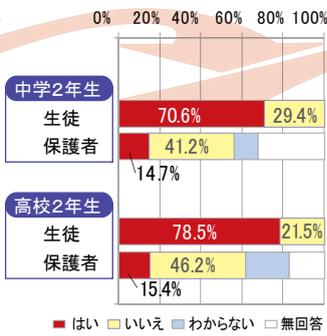


図9 インターネットで知り合った人に、自分の携帯電話の番号、またはメールアドレスを教えたことがありますか。(あると思いますか。)

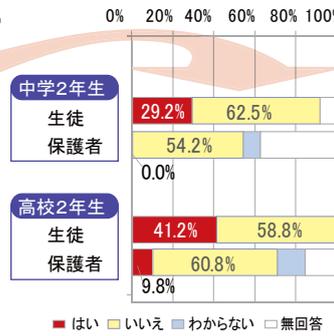


図10 インターネットで知り合った人と実際に会ったことはありますか。(あると思いますか。)

**コメント**

児童生徒の実態と保護者の認識には大きな差があります。インターネットで知り合った人がいる生徒のうち、その多くは携帯電話の番号やメールアドレスなどの個人情報を教えてしまっています。そのうち、**中学2年生の約3割、高校2年生の約4割は、実際に会っています。**インターネット上には、悪意をもった人たちも身を潜めています。

**携帯電話の所持率が高まり、使用時間も増えています。その結果、携帯電話にかかわるトラブルも年々増加しています。**

お子さんの安全確保のために、携帯電話を持たせることも一つの方法かもしれませんが、他の方法で安全を確認することも大切です。携帯電話を持つことで発生する危険性について、お子さんと話し合ってみましょう。

# その携帯電話の使い方で大丈夫ですか？

## 携帯電話の契約状況の実態

**フィルタリング**を利用すると**ネットトラブル**が**減少**します。

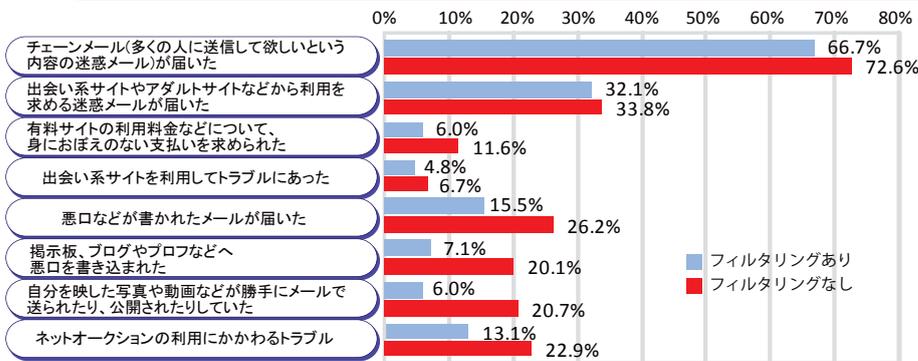


図11 インターネットを使っていて、経験したことがあるトラブルを次のうちから選んでください。  
(小学5年生:n=17 中学2年生:n=110、高校2年生:n=285)

**コメント**

インターネットトラブルの件数は、フィルタリングをかけることで減らすことができます。  
平成21年より、携帯各社が未成年の携帯電話に対して、一斉に**フィルタリングサービスを開始**します。  
保護者の解除申請がない限り、フィルタリングが適用されます。

**パケット定額制**の契約で**使用状況が大きく異なります**。

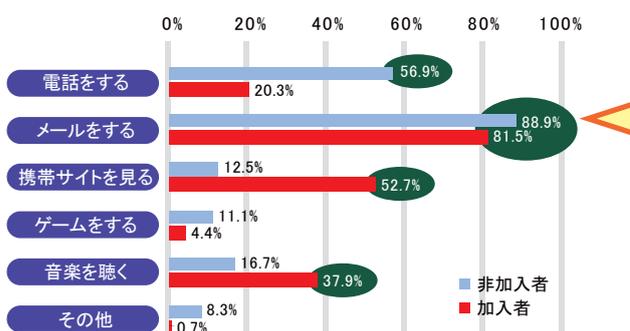


図12 パケット定額制サービス契約の有無と使用目的  
(加入者n=433 非加入者n=72) (2つに〇)

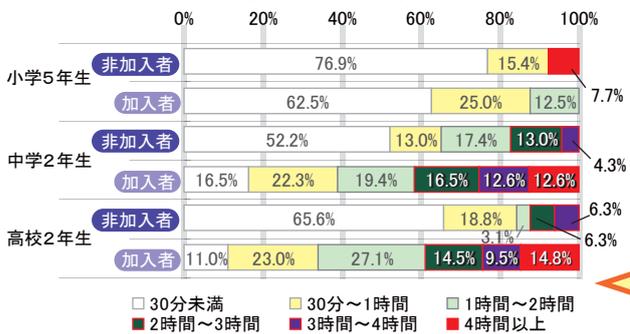


図13 パケット定額制サービスと使用時間との関係  
非加入者 (小学5年生:n=13 中学2年生:n=23、高校2年生:n=32)  
加入者 (小学5年生:n=8 中学2年生:n=103、高校2年生:n=317)

「パケット定額制」とは、  
※ 携帯電話でWebサイトやメール、情報サービスなどを利用した時の料金を、送受信データ量に関わらず一定とする料金制度です。

**コメント**

パケット定額制に加入していない児童生徒は、主に通話やメールを使用しています。  
しかし、加入している児童生徒は、メールの使用に加えて**携帯サイトや音楽サイト**などでの使用が主になっています。

**コメント**

インターネットの使用時間は、パケット定額制に加入していない中高生の場合、5割以上が30分未満であるのに対して、加入している中高生の場合、約4割が2時間以上使用し、中には**4時間以上使用**している生徒も多く見受けられます。

**パケット定額制の環境では、子どもたちが危険に遭遇する可能性が高まります。また、家庭での学習時間や睡眠時間の減少、ネット依存症等の問題も起きています。**

✓ フィルタリングサービスを利用しましょう。「携帯電話使用料金はお小遣いから払う。」「約束の金額を超えたらインターネット接続を解約する。」などの家庭内ルールをつくり、契約内容を見直してみましょう。

# 家庭内携帯電話使用ルールの実態

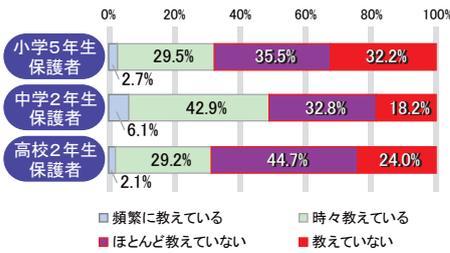


図14 コンピュータや携帯電話を使用しているインターネットの適切な使い方について、お子さんにどの程度教えていますか。

(小5保護者:n=518 中2保護者:n=296、高2保護者:n=387)

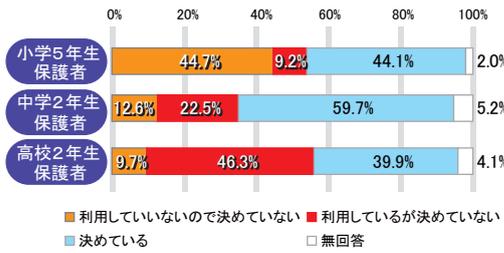


図15 インターネットやメールの使用について、お子さんと決めていたルールはありますか。

(小5保護者:n=152 中2保護者:n=191、高2保護者:n=393)



**コメント**  
児童生徒にインターネットの適切な使い方について教えている保護者は、半数以下です。  
高校2年生の**半数以上は家庭内ルールがないまま、自由に携帯電話を使用しています。**

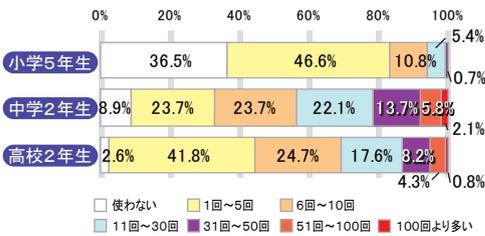


図16 携帯電話でメールを送る回数は、平均すると一日のうちどれくらいですか。

(小学5年生n=148 中学2年生n=190 高校2年生n=392)

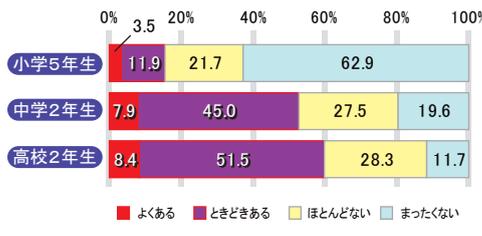


図17 やりたいことがあるのに、メールがきてこまると思うことがありますか。

(小学5年生n=143 中学2年生n=189 高校2年生n=392)



**コメント**  
中学2年生の約4割が毎日11回以上メールを使っています。中には**51回以上**という生徒も約1割います。  
中高生の半数は、**メールがきて困る**と思うことがあると答えています。

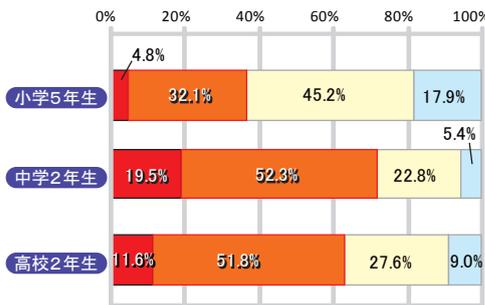


図18 あなたの携帯電話の使い方についてどう思いますか。

(小学5年生n=84 中学2年生n=149 高校2年生n=388)



**コメント**  
中学2年生の約7割が使い過ぎまたは使う方だと感じています。また、約2割の生徒が**使い過ぎだと自覚**しています。使い方を見直すきっかけがつかめず、困っているお子さんがいるかもしれません。

# 子どもたちのコミュニケーションの実態



友だちとコミュニケーションをとるのによく利用しているウェブサイト

1位	モバゲータウン
2位	前略プロフィール
3位	Yahoo!
4位	ハンゲーム
5位	GREE

新しい知り合いができたウェブサイト

1位	モバゲータウン
2位	前略プロフィール
3位	ハンゲーム
4位	もなちやっと、ふみコミュニティ、mixi、GREE、プチゲーフレズ、Esta!、C-BOX、au

その他のウェブサイト

NEXONオンラインゲーム、@peps、Yahoo! ブログ、あび屋、アマーパブログ、アマーパモバイル、嵐(ジャニーズ)の掲示板、インフィニティ、画像掲示板、ゲームの攻略サイト、ジュジュ、小説家になろう、チャット、ぼどタウン、バルビレッジ、マスプラ屋、みんなのブログ、メイプルストーリー、社のHP、何する? Jp

**多くの子どもたちは、家庭内ルールがないまま自由に携帯電話を使っています。中には、メールのやりとりに戸惑いを感じている子どもや、使い過ぎを自覚しながらも携帯電話の使用をやめられない子どももいます。**

改めて、携帯電話の安全な使い方についてお子さんと話し合い、携帯電話使用の家庭内ルールを決めましょう。お子さんの携帯電話使用にかかわる責任は保護者にあります。お子さんが大人になるまで見守りましょう。

# 情報モラル育成のためのデジタルコンテンツ

- 添付のCDに、保護者向けのパンフレット用データが入っています。配布だけでも保護者に考えてもらえるきっかけになります。様々な場面でご利用ください。



CDをパソコンに入れるだけで、スライドやフラッシュコンテンツが簡単に再生できます。

基本事項の指導の他にも、手軽に扱える学習プランがあります。グループ学習は、情報社会に参画する態度や心を育む上で、大変効果的です。

プレゼンテーション資料

フラッシュコンテンツ

## 調査の概要

詳細なデータは総合教育センターのホームページで公開しています。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

### 目的

インターネット・携帯電話などの新しいメディアの普及と利用拡大により、子どもたちを取り囲む環境が大きく変化してきています。この調査は、県内小5、中2、高2の任意抽出クラスの児童生徒とその保護者を対象に、児童生徒の携帯電話とパソコンの利用状況などについて把握し、情報モラル指導の一層の推進を図ることを目的としています。

### 対象及び有効回答数

#### 情報モラルの育成に関するアンケート(児童生徒)

対象	実施学校数	有効回答数
小学5年生	県内16校	525人
中学2年生	県内11校	304人
高校2年生	県内12校	398人

#### 情報モラルの育成に関するアンケート(保護者)

対象	実施数	有効回答数
小学5年生の保護者	児童アンケート実施校16校	525人
中学2年生の保護者	生徒アンケート実施校11校	303人
高校2年生の保護者	生徒アンケート実施校12校	397人

### 調査方法

質問紙による。

### 調査期日

平成20年6月中旬から7月中旬の適当な日時を学校が定めて実施

## トラブル・事件事故に関する相談

相談機関	電話番号	eメールアドレスまたはホームページのURL
栃木県教育委員会事務局学校教育課	小中学校担当 028-623-3390 高等学校担当 028-623-3382	eメール: gakkou-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp
栃木県警察本部 あなたの相談室	028-627-9110	————
栃木県消費生活センター	028-665-7744	————
警察庁インターネット安全・安心相談	————	URL: <a href="http://www.cybersafety.go.jp/">http://www.cybersafety.go.jp/</a>

## 教材・資料等を公開しているホームページ

参考機関	ホームページのURL
栃木県総合教育センター	<a href="http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/">http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/</a>
独立行政法人 教員研修センター	<a href="http://www.nctd.go.jp/">http://www.nctd.go.jp/</a>
”情報モラル”授業サポートセンター	<a href="http://sweb.nctd.go.jp/support/">http://sweb.nctd.go.jp/support/</a>
情報モラル研修教材2005	<a href="http://sweb.nctd.go.jp/2005/index.htm">http://sweb.nctd.go.jp/2005/index.htm</a>
CEC 財団法人 コンピュータ教育開発センター	<a href="http://www.cec.or.jp/CEC/index.html">http://www.cec.or.jp/CEC/index.html</a>
インターネット活用ガイドブック モラル・セキュリティ編	<a href="http://www.cec.or.jp/books/guidebook.pdf">http://www.cec.or.jp/books/guidebook.pdf</a>
ネット社会の歩き方	<a href="http://www.cec.or.jp/net-walk/">http://www.cec.or.jp/net-walk/</a>
社団法人 日本教育工学振興会	<a href="http://www.japet.or.jp/">http://www.japet.or.jp/</a>
やってみよう 情報モラル教育	<a href="http://kayoo.info/moral-guidebook-2007/">http://kayoo.info/moral-guidebook-2007/</a>
警察庁 サイバー犯罪対策	<a href="http://www.npa.go.jp/cyber/">http://www.npa.go.jp/cyber/</a>
インターネットトラブル(警察庁)	<a href="http://www.npa.go.jp/nettrouble/index.htm">http://www.npa.go.jp/nettrouble/index.htm</a>
ポリスチャンネル ビデオライブラリー	<a href="http://www.police-ch.jp/video/">http://www.police-ch.jp/video/</a>
ねちずん村	<a href="http://www.netizenv.org/top.htm">http://www.netizenv.org/top.htm</a>